

令和元年第2回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



都 筑 区
25th

令和元年6月3日

都 筑 区

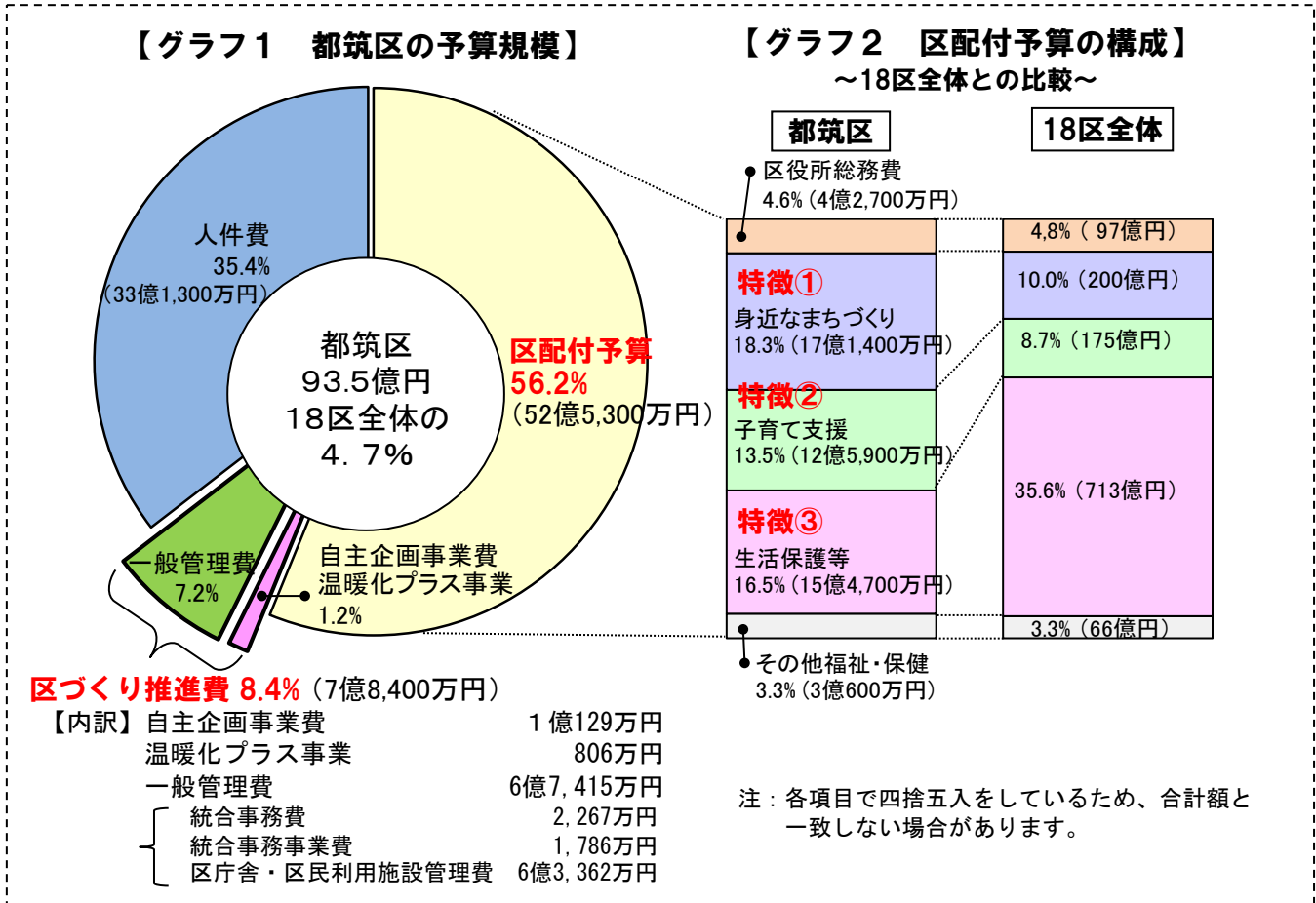
目 次

| | |
|--|----|
| 令和元年度 都筑区に係る予算のすがた（令和元年度一般会計予算） | 1 |
| 令和元年度 主な事業内容 | 2 |
| 令和元年度 都筑区編成予算 総括説明書 | 3 |
| 令和元年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要 | 4 |
| 施策1 つながりと協働を育むまち | |
| 1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 重点 拡充 | 7 |
| 2 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業） 重点 拡充 | 9 |
| 3 区役所改善推進事業 拡充 | 11 |
| 4 自治会・町内会支援事業 拡充 | 12 |
| 5 広報・広聴事業 拡充 | 13 |
| 6 まちづくり総合調整事業 拡充 | 14 |
| 7 地域de育む青少年事業（青少年健全育成事業） | 16 |
| 施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち | |
| 8 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 | 17 |
| 9 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充 | 19 |
| 10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業 | 20 |
| 11 地域で支える高齢者支援事業 | 21 |
| 12 障害者交流啓発事業 拡充 | 22 |
| 施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち | |
| 13 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充 | 23 |
| 14 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充 | 24 |
| 15 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充 | 25 |
| 16 メイドインつづき推進事業 | 26 |
| 17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充 | 27 |
| 18 都筑 国際交流プログラム 拡充 | 28 |
| 19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 | 29 |
| 施策4 安全・安心なまち | |
| 20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充 | 30 |
| 21 危機管理対策推進事業 重点 拡充 | 32 |
| 22 安全・安心なまちづくり事業 拡充 | 33 |
| 23 食と暮らしの安全推進事業 | 34 |
| 施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち | |
| 24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充 | 35 |
| 25 ハマロード・林ター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充 | 36 |
| 26 環境にやさしいまち推進事業 | 37 |
| 温暖化対策プラス事業 | |
| 市立保育所における温暖化対策啓発事業 新規 | 38 |

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規は**新規**、と表記しています。

都筑区に係る予算のすがた（令和元年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆7,615億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を含む）は2,001億円です。



都筑区の予算の特徴

令和元年度一般会計予算の中で、都筑区の人件費を含む区が執行している予算の規模は、約93.5億円となっており、18区全体の予算のおよそ4.7%を占めています。これは、単純に区民1人当たりには換算すると、44,070円を支出していることとなります。（令和元年5月1日現在の区の人口212,164人）

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は、約7億8,400万円となっており、都筑区に係る予算の約8.4%となっています。

「個性ある区づくり推進費」は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための「自主企画事業費」、区総合庁舎や区民利用施設の管理・修繕費である「一般管理費」で構成されています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算配付を受け区が執行している「区配付予算」で、都筑区全体の約56.2%に及び、予算額は約52億5,300万円となっています。

「区配付予算」の都筑区の特徴

- ①「身近なまちづくり」（土木事務所が執行する道路・公園等の維持管理に係る予算）・・・約17億1,400万円
公園面積は161万1,954㎡であり、緑道・公園の維持管理により、予算額は18区中1位となっています。
- ②「子育て支援」（市立保育所の運営や放課後児童育成などに係る予算）・・・・・・・約12億5,900万円
年少人口（0～14歳）は、構成割合・人数ともに市内で上位であり、予算額は18区中3位となっています。
- ③「生活保護等」（生活困弱者に対する扶助費を支給するための経費などに係る予算）・・・約15億4,700万円
生活保護費支給世帯数は平成31年3月末現在1,189世帯であり、世帯数は18区中18位、予算額は17位となっています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

| 分類 | 予算 | 説明 |
|-------------------------|--------------|---|
| 個性ある区づくり推進費 | 784 | 区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算 |
| 自主企画事業費 (温暖化プラス事業含む) | 109 | 区が地域の課題やニーズに迅速かつきめ細かく対応するための予算及び各局から配付されていた予算を束ねたもので、局が定めた一定の条件に基づいて地域の実情に応じて編成・執行する予算です。 |
| 一般管理費 (統合事務事業費含む) | 674 | 生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費や、区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。 |
| 区配付予算 | 5,253 | 局からの予算配付を受け、区が執行している予算 |
| 区役所総務費 | 427 | (総務部が執行する予算です。) |
| 賦課徴収費 | 101 | 市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。 |
| 広報費 | 14 | 「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。 |
| 統計調査費 | 5 | 各種統計調査を行うための経費です。 |
| その他 | 307 | 戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。 |
| 身近なまちづくり | 1,714 | (土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,868 百万円 |
| 道路修繕費等 | 1,094 | 道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。 |
| 河川維持管理費等 | 69 | 準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。 |
| 下水道事業(※参考) | (155) | 既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。 |
| 公園管理費等 | 551 | 身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。 |
| 子育て支援 | 1,259 | (福祉保健センター等が執行する予算です。) |
| 民間保育所運営 | 0 | 一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費です。 |
| 市立保育所運営 | 526 | 保育に欠ける乳児、幼児を保育する保育所の運営費などです。 |
| 放課後児童健全育成 | 494 | 地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。 |
| その他 | 239 | 小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。 |
| 生活保護等 | 1,547 | (福祉保健センターが執行する予算です。) |
| 生活保護 | 1,529 | 生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。 |
| 生活困窮者自立支援 | 18 | 生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。 |
| その他福祉・保健 | 306 | (福祉保健センターが執行する予算です。) |
| 障害者福祉 | 130 | 身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。 |
| 高齢者福祉 | 24 | 老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。 |
| その他 | 152 | 地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。 |
| 人件費 | 3,313 | |
| 職員人件費 | 3,313 | 総務局人事部労務課公表「平成31年度職員人件費予算の目安」より |
| 合 計 | 9,350 | (※) 下 水 道 事 業 を 含 む 9,504 百万円 |

・各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

・年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。

令和元年度 都筑区編成予算 総括説明書

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

(単位：千円)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増△減 |
|-----------------|---------|---------|--------|
| 1 自主企画事業費 | 101,290 | 101,491 | △ 201 |
| 2 統合事務事業費 | 40,532 | 22,465 | 18,067 |
| (1) 統合事務費 | 22,669 | 22,465 | 204 |
| (2) 統合事業費 ※1 | 17,863 | 0 | 17,863 |
| 3 区庁舎・区民利用施設管理費 | 633,618 | 628,431 | 5,187 |
| 4 温暖化対策プラス事業 ※2 | 8,061 | 0 | 8,061 |
| 合 計 | 783,501 | 752,387 | 31,114 |

※1 自主企画事業費から分離された広報よこはま発行事業等の7事業費の総称

※2 区役所や地域における温暖化対策の取組を推進するための事業費

＜内訳＞

1 自主企画事業費 【30年度は101,491千円から下記2(2)統合事業費の該当金額17,439千円を除いて比較】

| 施 策 の 柱 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増△減 |
|------------------------|---------|--------|--------|
| (1) つながりと協働を育むまち | 32,462 | 26,508 | 5,954 |
| (2) いきいきと健やかに暮らせるまち | 17,868 | 17,695 | 173 |
| (3) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち | 18,798 | 16,982 | 1,816 |
| (4) 安全・安心なまち | 23,579 | 16,806 | 6,773 |
| (5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち | 8,583 | 6,061 | 2,522 |
| 合 計 | 101,290 | 84,052 | 17,238 |

2 (2) 統合事業費 【30年度は自主企画事業費として計上していたため、参考数字】

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|----------------|--------|----------|
| 広報よこはま発行事業 | 9,718 | (9,467) |
| 市民相談事業 | 1,540 | (1,527) |
| クリーンタウン横浜事業 | 1,442 | (1,332) |
| 消費生活推進員活動事業 | 448 | (448) |
| スポーツ推進委員支援費 | 1,798 | (1,309) |
| 青少年指導員事業 | 1,397 | (1,836) |
| 学校・家庭・地域連携推進事業 | 1,520 | (1,520) |
| 合 計 | 17,863 | (17,439) |

3 区庁舎・区民利用施設管理費

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増△減 |
|-------------------|---------|---------|-------|
| 区庁舎等管理費（光熱水費含む） | 230,256 | 230,276 | △ 20 |
| 区版市民活動支援センター | 931 | 801 | 130 |
| 土木事務所管理費（光熱水費含む） | 5,509 | 5,794 | △ 285 |
| 地区センター等管理費 | 146,106 | 143,872 | 2,234 |
| ログハウス管理費 | 7,762 | 7,691 | 71 |
| 公会堂管理費（光熱水費含む） | 33,413 | 32,816 | 597 |
| 老人福祉センター等管理費 | 105,103 | 104,147 | 956 |
| コミュニティハウス管理費 | 50,768 | 49,500 | 1,268 |
| 区スポーツセンター管理費 | 38,901 | 38,700 | 201 |
| 都筑多文化・青少年交流プラザ管理費 | 6,894 | 6,894 | 0 |
| その他（広場・遊び場） | 475 | 440 | 35 |
| 区庁舎・区民利用施設修繕費 | 7,500 | 7,500 | 0 |
| 合 計 | 633,618 | 628,431 | 5,187 |

令和元年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要

都筑区では、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現を目指し、5つの柱に基づき自主企画事業費予算を編成しました。

区民の皆様が「日々を心豊かにすごし、ずっと住み続けたい」と愛着を持てるよう、地域・団体・企業の皆様と共に、ふるさとづくりに取り組んでまいります。

施策1 つながりと協働を育むまち

予算額 32,462 千円(対前年度比 +5,954 千円)

地域の課題を地域で解決できるよう、自治会町内会をはじめとした地域・団体・企業の交流の場をつくるなど、地域の力やつながりを育みます。

また、第3期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を推進し、人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを地域の多様な主体と協働して進めます。

併せて、共感と信頼の区役所づくりを進め、つながりづくりを支えます。



施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

予算額 17,868 千円(対前年度比 +173 千円)

都筑区は年少人口の割合が18区で最も高く、平均年齢が最も若いまちです。子育て世帯に選ばれるまちとして、更なるこども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、地域の参画による各世代に応じた健康づくりを進めます。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

予算額 18,798 千円(対前年度比 +1,816 千円)

地域のにぎわいづくりとふるさと意識の向上を図るため、地域や企業などと協働して、区民まつりを開催します。また、都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めます。

併せて、第7回アフリカ開発会議や東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るなど、更なるにぎわいづくりに取り組みます。



施策4 安全・安心なまち

予算額 23,579 千円(対前年度比 +6,773 千円)

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。

また、日本各地で発生している地震や豪雨災害により区民の防災・減災への関心が高まっていることを受け、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

予算額 8,583 千円(対前年度比 +2,522 千円)

新たな中期4か年計画で示されている「ガーデンシティ横浜」の推進を踏まえ、都筑区においても、花と緑にあふれるまちを目指し、施策を進めていきます。

都筑区の地域資源である公園や緑道などの安全対策に取り組むとともに、区内の魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。



～今年は都筑区制25周年の節目の年です～

記念式典の開催や、区のこれまでの軌跡を通史的にまとめた「図説 都筑の歴史」の発行など、地域に対する愛着・ふるさと意識を醸成していただけるよう、区制25周年を区民の皆様と共にお祝いします。



(単位：千円)

| 重点 | No. 自主企画事業名 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増△減 | 区制25周年関連予算 |
|------------|--------------------------------|----------------|---------------|---------------|---|
| ★ | 1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 | 3,380 | 2,910 | 470 | ○広報よこはま都筑区版記録集発行 ○「つづきウォーク&フェスタ」開催 |
| ★ | 2 つづき”縁”ジン事業(市民活動・生涯学習支援事業) | 2,732 | 2,498 | 234 | |
| | 3 区役所改善推進事業 | 13,690 | 10,868 | 2,822 | |
| | 4 自治会・町内会支援事業 | 3,429 | 2,586 | 843 | |
| | 5 広報・広聴事業 | 1,910 | 1,529 | 381 | |
| | 6 まちづくり総合調整事業 | 6,279 | 5,280 | 999 | |
| | 7 地域de育む青少年事業(青少年健全育成事業) | 1,042 | 837 | 205 | |
| ★ | 8 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 | 9,193 | 9,448 | △255 | ○都筑区地域子育て支援拠点サテライト(仮称)オープニングイベント開催 ○健康に関する記念講演会開催 ○積木を使ったイベント開催 |
| ★ | 9 つづき健康づくりサポート事業 | 2,630 | 1,762 | 868 | |
| | 10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業 | 3,333 | 3,541 | △208 | |
| | 11 地域で支える高齢者支援事業 | 1,242 | 1,894 | △652 | |
| | 12 障害者交流啓発事業 | 1,470 | 1,050 | 420 | |
| ★ | 13 街のにぎわいづくり事業 | 6,205 | 4,480 | 1,725 | ○記念式典開催 ○「図説 都筑の歴史」発行 |
| ★ | 14 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 | 905 | 700 | 205 | |
| | 15 文化活動支援・スポーツ振興事業 | 1,969 | 1,819 | 150 | |
| | 16 メイドインつづき推進事業 | 4,369 | 4,983 | △614 | |
| | 17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 | 3,200 | 3,000 | 200 | |
| | 18 都筑 国際交流プログラム | 1,550 | 1,400 | 150 | |
| | 19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 | 600 | 600 | 0 | |
| ★ | 20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 | 3,288 | 1,935 | 1,353 | |
| ★ | 21 危機管理対策推進事業 | 9,732 | 5,005 | 4,727 | |
| | 22 安全・安心なまちづくり事業 | 9,728 | 9,298 | 430 | |
| | 23 食と暮らしの安全推進事業 | 831 | 568 | 263 | |
| ★ | 24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 | 2,639 | 2,218 | 421 | ○「つづき みどりと花の名所25選」開催 |
| ★ | 25 ハマロード・サポーター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 | 4,230 | 2,023 | 2,207 | |
| | 26 環境にやさしいまち推進事業 | 1,714 | 1,820 | △106 | |
| 合 計 | | 101,290 | 84,052 | 17,238 | |

※平成30年度予算額は、当初額101,491千円から、令和元年度より統合事業費として分離された7事業の予算17,439千円を除いています。

※ 令和元年度に新たに実施する項目については下線が引いてあります。

施策1 つながりと協働を育むまち

| 1 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---|--------|---------|-------|
| | 338 万円 | 291 万円 | 47 万円 |

人のつながりを実感し、安心して暮らせる地域づくりを行うため、地域福祉保健の課題解決に向けて「自助」「共助」「公助」を組み合わせ、関連付けながら総合的に取組を進めていきます。

計画の推進にあたっては、区・区社会福祉協議会・区内地域ケアプラザの3者の連携をより深め、取り組んでいきます。

1 地域懇談会の開催

第3期計画推進に向けた地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

- ・川和地区：5月25日、参加者57名、川和連合集会所

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。また、第4期計画の策定に向けた機運の醸成を図るため、計画啓発用物品の制作を行います。

(2) 地域のつながりづくりや活動の担い手育成支援等のため、職員を対象とした研修を実施します。

3 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行います。

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について、引き続き取り組みます。また、(仮称)都田地域ケアプラザの整備に向けて、整備予定地周辺の自治会町内会をはじめ、各種団体等と調整します。

5 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助とします。(7月、10月、2月、3回発行)

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期地域福祉保健計画の推進やその方向性、地域の取組について、学識経験者や区民の意見交換の場とします。

また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年分野、高齢者分野、障害者分野及び健康づくり分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援します。

7 発表会の開催

計画推進のための各地区の取組を共有する場として、計画発表会「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

- ・「つづき あいフォーラム」：2月15日、都筑公会堂
- ・「つづき あいパネル展」：2月13日～19日、区民ホール

| | | | |
|--|---------|---------|--------|
| 2 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業) 重点 拡充 | R元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
| | 273万2千円 | 249万8千円 | 23万4千円 |

市民活動・生涯学習支援における個人のきっかけづくりから、グループ化を支援し、レベルに合った団体支援を行います。また、都筑区民活動センターが区内の中間支援組織のハブ機能を果たすことを目指し、団体同士や施設同士の情報の共有や連携が進むよう、ネットワークづくりに取り組みます。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを支援し地域活動へつなげることを目的に、特定のテーマを設定した学級を開催します。

- ・50代以上の女性のための講座：6月～9月
- ・地域デビュープランナー講座：11月～12月
- ・20代から30代の地域入門講座：1月～2月

(2) ベース60 男の居場所【新規】

地域を知り、仲間と出会い、地縁をはぐくむ場として、ボランティア活動の促進をテーマにシニア男性を対象としたサロンを開催します。(6月～3月)

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」となるよう、区内・近隣の女性たちによるネットワークづくりのためのイベントや講座を開催します。

- ・講座：10月～11月
- ・WOMEN'S MEET UP FES in 都筑：3月

(4) 区民活動センター利用促進事業

区民活動センターの新規利用者獲得のための事業を委託により実施します。現役世代から、地域活動や市民活動に関わることで退職後、地域とのつながりづくりにスムーズに移行できるきっかけを作ります。(期間を限定して開館時間を延長)

2 つながる（個人から団体へ）

(1) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習をはじめのきっかけを提供するためのツールとして、広報紙を発行します。(6・9・12・3月)

(2) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設の情報交換会を行い、ネットワークの強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めます。(10月)

3 ささえる（団体支援）

(1) つづき^{びと}交流フェスタ

区内の市民活動団体・グループによる活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。（3月）

(2) 縁ジンミーティング

区民活動センターの登録団体を対象として、活動内容に関わる必要な知識やノウハウについてテーマ別の講座を実施するとともに団体間の交流を図ります。（年3回）

(3) 区民活動補助金

市民活動団体が自主的かつ主体的に行う、公益性が高く地域課題の解決につながる事業に対し補助金を交付します。

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等、今年度市民活動・生涯学習事業を実施した団体の成果を発表します。（3月）

| | | | |
|--|----------|--------------|------------|
| 3 区役所改善推進事業 拡充 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
| | 1,369 万円 | 1,086 万 8 千円 | 282 万 2 千円 |

区民満足度の向上のため「あったかハートつづき宣言」に基づき、窓口サービスの改善、区役所で税理士等による確定申告書の提出・相談、子ども連れのお客様が安心して相談できる環境づくり等を実施します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討のうえ、実施します。(6月～3月)
- (2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施します。(12月)

2 区庁舎等環境改善

区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行います。

また、様々な来庁者が利用しやすい区庁舎になるよう、戸籍課及び保険年金課の窓口レイアウト変更や待合いフロアの環境整備を進めます。(8月、12月～1月)

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期(2月16日～3月15日)に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告(医療費控除の還付申告)に係る作成支援と受付を区民に身近な区役所で行えるようにします。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。(配置時間：8時45分～17時)

また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施します。(実施時間：9時30分～15時30分)

| 4 自治会・町内会支援事業 拡充 | R元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|--|--------|---------|---------|
| | | 342万9千円 | 258万6千円 |

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。併せて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状・表彰状を贈呈し感謝の意を表します。

2 自治会町内会への情報提供

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

3 自治会町内会加入促進

地域活動を促すため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行います。

- ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布
- ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・自治会町内会会長の人となりや活動の様子を紹介する冊子を作成・配布：3月

| 5 広報・広聴事業 拡充 | R 元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|--|--------|---------|------------|
| | | 191 万円 | 152 万 9 千円 |

区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

1 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、主に広報区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催します。

2 広報区版記録集発行业業【新規】

区制 25 周年を迎えるにあたり、これまでの広報よこはま都筑区版の記録集を記念式典にあわせて発行します。

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供や若年層に向けたツイッター等での情報発信を行います。

4 PRボックスの活用

毎月 1 日に全駅の PR ボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月 10 日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

5 転入者向けガイドブック発行业業

平成 28 年度に発行し、30 年度に更新した「Garden×都筑区役所」を増刷します。

6 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させます。

(1) 主要事業説明等周知

「主要事業説明」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、広報区版への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。

- ・主要事業等説明会：4 月 21 日～5 月 26 日、15 地区連合自治会町内会
- ・パネル展示：5 月 25 日～29 日、区民ホール

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会

| 6 まちづくり総合調整事業 拡充 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|--|-------|---------|-------|
| | | 627万9千円 | 528万円 |

まちづくりに関する区民の声を聴き、地域の課題解決等を図るため、課題解決に向けた検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。

また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりに向けた普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを進めます。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会）、横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区インターンシップ等を行います。

また、都筑区をテーマとした、地域の課題解決能力を身につける授業（「横浜・川崎学演習」）を、大学側と連携して実施します。

さらに、留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する「都市大留学生カフェ」を開催します。

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）や区内企業との情報交換を行います。

2 都筑区区民意識調査【新規】

一定数無作為抽出した区民を対象に、区政に対する意向や意識を調査し、今後の都筑区の施策の基礎資料とします。

- ・調査実施：5月20日から6月17日まで
- ・速報値の報告（記者発表）：9月上旬
- ・報告書公表、調査結果の報告①（記者発表）：12月上旬
- ・調査結果の報告②（広報よこはま都筑区版、区連会）：12月中旬

3 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行います。

(2) タウンセンター周辺地区の活性化

都筑区民文化センター(仮称)の整備が予定されているタウンセンター周辺地区の活性化に向けた検討及び取組支援を行います。

4 まちの課題解決

(1) 外出利便性向上に向けた方策

「都田・池辺地区ボランティアバス」の実証運行期間中の運行支援を行いながら、運営体制及び運行ルート等の検討を行います。

(2) バス路線利用促進に向けた周知PR

横浜市生活交通バス路線の周知用ポスターをバス車内や自治会町内会の掲示板に掲示するなど、利用促進PRの取組を進めます。

(3) まちの課題解決事業

地域のつどい等で把握できた課題について、緊急性や実現可能性等を考慮しながら取組及び検討を実施します。

| 7 地域 de 育む青少年事業 (青少年健全育成事業) | R 元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|--------------------------------|--------|------------|-----------|
| | | 104 万 2 千円 | 83 万 7 千円 |

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。(1回目：6月16日、都筑区役所6階大会議室)

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。

(1) (2) 共通の今後の予定

- ・オリエンテーション：7月19日～22日、全6回、つづきMYプラザ及び区内4館地区センター
- ・ボランティア体験：7月24日～8月23日、区内各所(夏祭り、区内区民利用施設、保育所、高齢者施設、区内企業、コミュニティカフェ等)
- ・振り返り・修了証授与：8月24日、都筑区役所6階大会議室

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。また、「都筑区健康アクション!」とも連携しながら、区制25周年を盛り上げます。

- ・第1回つづきウォーク&フェスタ実行委員会：5月30日
- ・つづきウォーク&フェスタ：11月23日、すきっぷ広場及び区内各所

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

| 8 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|--|---------|---------|---------|
| | 919万3千円 | 944万8千円 | △25万5千円 |

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫（パートナー）が参加しやすいように、土曜日半日コースの両親教室を、区役所会場で4回とポポラ会場で4回実施します。

- ・区役所会場：5月25日、8月10日、11月9日、2月15日
- ・ポポラ会場：7月27日、9月28日、1月25日、3月28日

都筑区の先輩ママから「妊娠中のママへの応援メッセージ」を集め、母子健康手帳交付時に配布している「妊娠マイカレンダー」の裏面に印刷し、全妊婦に配布します。

2 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。

（1月）

また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び講演会」を開催します。

3 子育てネットワーク事業

地域子育て支援拠点 P o p o l a（ポポラ）や区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換（子育てネットワーク会議）及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施します。

また、子育てサークルの運営を支援するため、研修や運営支援、情報交換（サークル交流会）を行います。

- ・子育てネットワーク会議：5月31日、2月
- ・子育てネットワーク交流会：12月2日

4 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

5 放課後キッズクラブ運営NPO法人設立支援事業

はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換に際し、はまっ子ふれあいスクール運営委員会に対するNPO法人設立支援や、運営開始後に必要な実務的な支援等を実施します。

6 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。

(毎週火曜日(第5火曜日は除く))

7 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会や放課後児童育成事業の紹介を行い、併せて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

・小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～

: 9月7日、9月14日、9月21日

8 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して、命の授業を区内の全市立小学校(22校)で実施します。(6月～3月)

9 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、赤ちゃんふれあい体験事業を区内の全市立中学校(8校)で実施します。(7月～8月)

10 「つづき・育なび」推進事業

スマートフォンやパソコンから乳幼児健診や保育園・幼稚園、医療機関、お出かけスポット、予防接種スケジュールなどの情報を手軽に見られる「つづき・育なび」ウェブ版及びアプリを運用します。

11 都筑区地域子育て支援拠点サテライトオープニングイベント【新規】

都筑区地域子育て支援拠点サテライトの開所を記念し、オープニングイベントを実施します。(10月、ららぽーと横浜)

| | | | |
|---------------------------|--------|------------|-----------|
| 9 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充 | R 元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
| | 263 万円 | 176 万 2 千円 | 86 万 8 千円 |

区民の自主的な健康づくりを支援するため、「都筑区健康アクション」に基づき庁内連携を進めるとともに、保健活動推進員、食生活等改善推進員、民間企業との協働により生活習慣病及びがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨します。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月7日～10月15日、区民ホール
- ・大腸がんトイレットペーパーを活用したがん啓発：月2回、区役所内トイレ
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：月2回

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代に応じた中断のない大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指します。

- ・食育・健康フェアパネル展：6月14～20日、イベント：6月22日、区民ホール
- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談：区内11か所、延べ39回
- ・食育情報交換会：年2回（7月、12月）

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員と協働で健康に関する記念講演会を開催することで、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識をより一層醸成します。

さらに、「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知し、自らがそれぞれの健康づくりに取り組むきっかけを作ります。

4 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成29年度から保険年金課待合スペースで実施しているストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等の取り組みを引き続き実施していきます。

| 10 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業 | R 元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---------------------------|------------|------------|------------|
| | 333 万 3 千円 | 354 万 1 千円 | △20 万 8 千円 |

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら育児相談などができるようにします。

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力により、毎月第3日曜日に園庭を開放します。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が保護者へ食事の仕方や作り方について助言します。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいように地域ごとに実施します。

- ・ Aエリア（東山田周辺）：9月6日、東山田地域ケアプラザ
（仲町台周辺）：9月12日、仲町台地区センター
- ・ Bエリア（中川・北山田周辺）：11月13日、北山田地区センター
- ・ Cエリア（茅ヶ崎周辺）：7月5日、都筑公会堂
- ・ Dエリア（池辺町、川和町周辺）：10月30日、都筑地区センター

5 積木交流

保育施設や幼稚園等における地域の子育て支援の充実を図るため、地域の親子向け育児講座として、区民ホールで積木を使ったイベントを区制25周年記念行事として開催するなど、「積木の都筑」を広めていきます。

- ・ 積木イベント：9月20日、区民ホール、市立保育所・民間保育所の交流
9月21日、区民ホール、地域の親子対象

| 11 地域で支える高齢者支援事業 | R 元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|------------------|------------|------------|------------|
| | 124 万 2 千円 | 189 万 4 千円 | △65 万 2 千円 |

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム

都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供をし、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。(9月7日、都筑公会堂)

(2) サポート連絡会

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。

- ・認知症サポート連絡会：年 12 回開催

2 認知症人材育成事業

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施します。(11月～1月)

3 福祉保健情報提供事業

福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営、サポートスタッフ（市民ボランティア）を配置します。

チラシ・パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、お客様の案内誘導等を行います。

また、タブレット端末を用いて、高齢者や障害者支援等に関する最新の情報をご案内します。

| 12 障害者交流啓発事業 拡充 | R元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---|--------|---------|--------|
| | | 147 万円 | 105 万円 |

障害児・者と区民との交流を目的とし、福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者の自立・社会参加のために、地域の理解を深め、つながりを作る啓発事業を行います。新たに「～新・福祉農園イベント～障害者と地域の共生フェスタ」という内容で実施します。

- ・芋ほりイベント：10月20日、障害児・者のみの参加
- ・啓発イベント（講演会、障害者スポーツ ボッチャの体験など）
：12月1日、区民ホール及び都筑公会堂

2 障害者地域啓発事業

多くの区民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を増やすための事業を推進します。

障害のある方が、地域防災拠点に参加し、地域の方と顔が見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会を作ります。

障害者自立支援協議会を活用し、地域向け障害者理解のための講演会を区内の地域ケアプラザで行い、その活動内容についてホームページを使って情報発信します。

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるために、区役所やセンター南・センター北駅で障害者施設の自主製品販売を支援します。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

| 13 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充 | R元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|------------------------------------|--------|---------|-------|
| | | 620万5千円 | 448万円 |

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

区制25周年を迎えるにあたり、区民の皆様にPRするとともに25周年をお祝いし盛り上げていきます。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第25回都筑区民まつり」を実施します。(11月3日)

また、記念式典(11月9日開催)等、区制25周年の記念事業を実施します。

2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝える取組を行います。

また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図ります。具体的には、商店街からのラブレター事業の景品として横浜ビー・コルセアーズ関連のグッズのプレゼントや、区民ホールにて商店街のパネル展(7月18日～24日)を開催し、商店街の紹介と合わせてガチハンバーグ出店店舗の紹介も行います。

3 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の芝生広場を会場に、ドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。(12月)

| | | | |
|--|-----------|---------|-----------|
| 14 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充 | R 元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
| | 90 万 5 千円 | 70 万円 | 20 万 5 千円 |

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向け、機運醸成を図ります。特に都筑区では、横浜国際プールが英国代表チームの事前キャンプ地となるため、「ホストタウン」としての取組を通じ、スポーツはもとより、文化芸術や国際理解など幅広い分野で、まちのにぎわいを創出します。

1 都筑×英国文化交流講座の開催

東京 2020 大会を契機として都筑区と英国の交流を深めるため、都筑区と英国の相互の文化を知り、2020 年のホストタウンとしてのおもてなしを考えるための講座を開催します(10 月)。講座の開催にあたっては、都筑多文化・青少年交流プラザと連携して実施します。

2 国際理解講座の開催

2020 年に向けて、英国の事前キャンプ地となることを P R するために、東京 2020 大会の前年に開催されるラグビーワールドカップ 2019^Mの盛り上がりを生かし、相乗的に 2 大会の機運醸成を図り、区民の関心を高める国際理解講座を開催します。

平成 29、30 年度の国際理解講座の参加者に令和元年度の講座について企画段階から運営協力いただき、講座終了後も参加者が自主的に活動できるよう支援を行います。

- ・国際理解講座「グローバル人材と人間力 ～ボランティアレガシーを残すために～」
： 8 月 7 日、8 日

3 英国代表チーム歓迎イベント【新規】

2019 年に横浜国際プールで事前キャンプを行う予定の英国水泳代表チームとの交流会等を、区内の施設で実施します。(7 月)

4 ボツワナ共和国のホストタウン登録に伴う取組【新規】

第 6 回都筑・ボツワナ交流児童画展等の機会を活用して、ボツワナ共和国のホストタウン登録の広報を行います。(7 月～)

| 15 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充 | R元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---|--------|---------|---------|
| | | 196万9千円 | 181万9千円 |

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

- ・ボランティアスタッフ、キャッチフレーズ募集：4月
- ・ポスターデザイン画募集：7月～9月上旬
- ・参加者募集：9月～10月下旬
- ・第24回都筑区民文化祭：1月18日～2月2日
- ・「横浜音祭り2019」区連携事業：9月21日

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助や情報共有を行い、各種目別の区民大会の開催支援を行います。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。(3月)

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。

5 地域の読書活動推進事業

横浜市市民読書活動計画の改定に基づき、第2期「都筑区読書活動推進目標」を定めま
す。併せて、読書をより身近なものにするため、読書活動団体・読書関連施設と連携し、
年度内に「つづきブックマップ～都筑区読書関連施設マップ～」を更新します。

| 16 メイドインつづき推進事業 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|-----------------|---------|---------|---------|
| | 436万9千円 | 498万3千円 | △61万4千円 |

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 展示会出展等支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進します。

2 地産地消の推進

区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜朝市の定期開催（概ね月2回）やイベント開催、都筑野菜マルシェセット（のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ）の貸し出し、リーフレットやステッカーなどのPRツールを活用した都筑野菜のPRなど、地域の中での地産地消の取組を支援します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行い、食育と地産地消をテーマとしたイベントを開催します。

- ・JA横浜と連携した都筑野菜を用いた料理教室の開催：11月～12月、3回

3 事業PRイベントの実施

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行います。

| 18 都筑 国際交流プログラム 拡充 | R 元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---|---------|---------|--------|
| | | 155 万円 | 140 万円 |
| <p>ボツワナ共和国などアフリカとの交流実績を生かして、第7回アフリカ開発会議横浜開催に向けた区内の機運を高めます。</p> <p>また、区内在住の外国人の皆様が安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。</p> <p>1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業</p> <p>外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」の運営を委託します。</p> <p>(1) 国際交流・外国人支援事業</p> <p>外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成、国際理解の促進のためのイベント、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。</p> <p>(2) 市民活動支援</p> <p>日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。</p> <p>2 第7回アフリカ開発会議 関連事業</p> <p><u>センター北にあるイオンシネマ港北ニュータウンにて、サバンナのジオラマを展示するなどのロビープロモーションやPR動画を活用したイベント等を実施し、横浜で開催される国際会議にむけた区内の機運を高めます。（8月10日～12日）</u></p> | | | |

| 19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 | R 元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|--------------------|---------|---------|-------|
| | | 60 万円 | 60 万円 |

平成 29 年 3 月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズの P R 活動や地域に根差したチーム作りの支援を行うとともに、地域が一体となってチームを育てる体制づくりに取り組むことで、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元応援イベントの実施

地域の文化・芸術団体など地域の皆様と連携し、横浜国際プールや区内施設において、横浜ビー・コルセアーズを応援するイベントを実施するとともに、横浜ビー・コルセアーズの選手を交えたバスケットボール教室などを通じて、地元ファン層の拡大を図ります。

- ・開幕カウントダウンボード：8 月～9 月、区民ホール
- ・パネル展示：9 月 25 日～10 月 1 日、区民ホール
- ・広報よこはま都筑区版での紹介：12 月

2 都筑区応援 d a y の実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、区民の皆様にご覧いただき試合観戦を呼びかける都筑区応援 d a y を実施します。

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図ります。

施策4 安全・安心なまち

| 20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---|-------|---------|---------|
| | | 328万8千円 | 193万5千円 |

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月17日
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：6月1日、6月29日、1月

2 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

3 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）

取組を実施する地域に対して災害時要援護者名簿を提供します。また、地域の実情に合った支援体制づくりを積極的に支援するため、連合自治会町内会に対し研修会を開催するとともに、補助金を交付します。

4 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川水系の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

5 補充的避難所活用事業

多数の避難者で避難所のスペースが不足した場合や避難所の機能不能時に代替施設となる補充的避難所について、地域防災拠点に準じた円滑な開設・運営ができるよう体制づくりを行います。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から、災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を作成し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発します。また、感染症予防啓発のため、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールを作成し、保育施設や高齢者施設等に配付します。

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行います。

| | | | |
|-----------------------------------|------------|------------|------------|
| 21 危機管理対策推進事業 重点 拡充 | R 元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
| | 973 万 2 千円 | 500 万 5 千円 | 472 万 7 千円 |

大雨や台風による土砂災害や河川の氾濫を想定した風水害対策訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部体制の強化を図ります。

また、災害時に迅速かつ的確な情報発信・収集をするため、緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

・災害対策連絡協議会：5月13日

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。

・早淵川水防訓練：6月8日、勝田町町内会エリア、勝田小学校

参加者：勝田町町内会、都筑消防団、都筑消防署、横浜建設業協会都筑区会、都筑警察署、都筑区役所

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図ります。

・洪水ハザードマップ 2000 部増刷

3 区本部体制の維持・管理

(1) 区本部運営に必要となる備蓄品や資機材等の維持管理、整備を行います。

(2) 防災用スピーカーを、鶴見川沿いに1基増設します。

・防災用スピーカー1基増設（佐江戸公園）：6月1日運用開始

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

| 22 安全・安心なまちづくり事業 拡充 | R 元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---|---------|------------|------------|
| | | 972 万 8 千円 | 929 万 8 千円 |

犯罪を未然に防ぎ、区民の安全で安心な暮らしを実現するため、防犯活動を支援します。
 さらに、交通安全啓発やスクールゾーン協議会の支援、放置自転車の対策を実施し、区民の皆様の安全を守ります。

1 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。(8月8日)

2 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様を顕彰します。(2月)

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察、土木事務所と連携し、スクールゾーン標示の整備拡充や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。(補助金支援 22 校、はまっ子交通安全教室 9 校)

3 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域(センター南、センター北、仲町台、ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺)において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

| 23 食と暮らしの安全推進事業 | R元 予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|-----------------|--------|---------|--------|
| | 83万1千円 | 56万8千円 | 26万3千円 |

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などを対象に食事を提供する社会福祉関連給食施設については、拭取り検査を併用した衛生指導を実施します。

- ・拭取り検査を併用した衛生指導：6月、小学校給食施設 22か所
10月～3月、社会福祉関連給食施設 70か所

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。

イベントや講座では、簡易機器を用いた手洗いの効果測定や手洗い方法を示したクリアフォルダの配布により、正しい手の洗い方を周知します。

- ・食中毒予防パネル展：5月～11月、5回
- ・出前講座：4月～9月、10回
- ・簡易機器を用いた手洗い効果測定：4月～11月、5回

2 暮らしの衛生確保事業

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、区民まつり、狂犬病予防注射出張会場において、ペットのマナー及び飼育などに関する啓発を実施します。

- ・狂犬病予防注射会場での啓発：4月、啓発チラシの配布（800部）
- ・動物愛護週間イベント：9月24日～9月30日、区民ホール

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

| 24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|---------------------|---------|---------|--------|
| 重点 拡充 | 263万9千円 | 221万8千円 | 42万1千円 |

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、都筑区花いっぱい運動に取り組むとともに、区内の花と緑の名所を募集・選定・PRすることで、引き続き花や緑を大切にする心を醸成します。

また、平成26年度に改訂した「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力伝えるとともに、今後のマップの更新及び利用者の増加に向けたPRを行います。

1 緑アップ推進

(1) 緑地の保全及び農地の活用

重点的に保全等に取り組むべき緑地について、様々な制度を活用した保全の推進を図ります。また、地元等と調整し、区内に2か所ある市民の森（池辺・川和）のPRに取り組みます。

(2) 都筑区花いっぱい運動の推進

ア 「つづき みどりと花の名所25選」の実施

区内の「みどりと花の名所」を募集し、区民投票により25の名所を選定する「つづきみどりと花の名所25選」を実施することで、花や緑を大切にする心を醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会とします。

- ・候補地募集：平成31年1月～令和元年9月
- ・結果発表：11月

イ 区の花のPR

都筑区内の市立保育園・小中学校に区の花「サクラソウ」を配付し、区の花のPRを行うとともに、ふるさと意識を醸成します。

ウ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。

2 散策マップの活用

都筑区水と緑の散策マップを活用して、都筑区の環境資源の魅力を市民に伝えます。また散策マップの更新に向けた情報収集を行います。

| | | | |
|---|--------|------------|------------|
| 25 ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充 | R 元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
| | 423 万円 | 202 万 3 千円 | 220 万 7 千円 |

身近な道路や公園を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に都筑区の状況に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

各団体（43 団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供します。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展や交流会を開催します。

引き続き、外部アドバイザーを招き、専門的な活動支援を行います。

- ・道路ふれあい月間での活動PR：道の日イベント（8月3日）
- ・パネル展：7月2日～9日、区民ホール
- ・都筑区交流会：12月
- ・外部アドバイザーの活動支援：6、7月（北山田地区）

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（154 団体）の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施します。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園ほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供します。

- ・パネル展：7月2日～9日、区民ホール

3 都筑^{りょくか}緑花塾事業【新規】

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催します。

併せて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法をまとめ、普及を支援します。

- ・ナチュラルガーデン講座：5月21日～2月25日、5回、東方公園ほか

4 ちょっとボランティア推進事業【新規】

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくにあたり、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードを作成し、公園愛護会等と連携しながら配布します。

案内カードの内容は、土木事務所のホームページにも掲載します。

- ・案内カードの配布開始：8月

| 26 環境にやさしいまち推進事業 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|------------------|---------|---------|---------|
| | 171万4千円 | 182万円 | △10万6千円 |

「温暖化対策」と「3R夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 温暖化対策推進事業

(1) 次世代自動車活用・普及啓発

区公用車として導入した次世代自動車（電気自動車、燃料電池自動車）を活用し、各種イベント等でのPRや区内事業者への普及啓発を実施します。

(2) つづきエコ活啓発

区民の皆様一人ひとりが実践しやすい温暖化対策の取組をPRするため、普及啓発イベントを開催します。

(3) 緑のカーテン事業

区庁舎の緑のカーテンの維持管理及び区内小・中学校への育成支援を行います。

2 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援などを行います。

- ・清掃ごみ袋の配付による地域清掃の支援：15団体（5月末時点）

- ・ポイ捨て防止啓発：8月、区庁舎周辺

(2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動を推進するため、ごみの分別の徹底や食品ロス削減のための啓発物品を作成し、イベントでPRするほか、東京都市大学と連携した環境講座や、赤ちゃん会での啓発、小学校等を対象としたリユース図書の配付などを行います。

- ・区民まつりごみステーション分別啓発：11月、7か所

- ・つづき3R夢週間パネル展、リユース家具抽選イベント：5月24日～28日

- ・東京都市大学と連携した環境講座：2月、350名予定、東京都市大学

- ・赤ちゃん会での3R夢啓発：9月～3月、14会場

- ・リユース図書の配付：7月、1,000冊以上、区内小学校

3 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢の推進に関する情報を共有する第一回会議を行いました。

（5月22日、3団体、8個人）

温暖化対策プラス事業

| 市立保育所における温暖化対策啓発事業 | R元予算額 | H30 予算額 | 増△減 |
|--------------------|------------|---------|------------|
| 新規 | 806 万 1 千円 | 0 円 | 806 万 1 千円 |

効果的に暑さ対策を行うため、新しい暑さ対策技術である「フラクタル日除け」等を区内市立保育所へ設置します。また、市立保育所の園庭開放等を活用し、子育て世代と子どもたちを対象とした温暖化対策の啓発を行います。

1 フラクタル日除け等の設置

温暖化対策のモデル園として、区内市立保育所2園（みどり保育園・中川西保育園）にフラクタル日除けを設置することにより、温暖化防止に寄与する暑さ対策を行い、設置・導入の効果を検証します。

- ・設置：7月
- ・導入効果検証：8月

また、区内市立保育所5園全園にミスト発生機等を配備します。

2 子育て世代に向けた温暖化対策の啓発

市立保育所で平日に毎日実施している園庭開放「おひさま広場」（平成30年度1万3千人以上参加）や、市立保育所周辺の民間保育所との交流の場などにおいて、上記フラクタル日除けの利用や温暖化対策グッズの配布等により、市立保育園に通う園児だけでなく、周辺地域や他園に通う子育て世代と子どもたちを対象とした温暖化対策の啓発を行います。

【参考：平成29年度に設置したフラクタル日除け】



大熊保育園



みどり保育園



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第3期都筑区地域福祉保健計画応援バージョン